

平成 29 年度ユネスコスクール年次報告書

1. 学校概要

学校名 岡崎市立常磐中学校

種 別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫^{※注1}

中学校 中高一貫^{※注2} 高等学校

教員養成大学 専修学校、各種学校

特別支援学校

その他（例：小中高一貫）

※注1 義務教育学校を含む ※注2 中等教育学校を含む

所在地 〒444-3173

愛知県岡崎市滝町山籠109

E-mail tokiwa@st.oklab.ed.jp

Website http://www.oklab.ed.jp/tokiwa/

幼児児童生徒数 男子 107 名 女子 122 名 合計 229 名

幼児・児童・生徒の年齢 12 歳～15 歳

2. 報告期間

平成 29 年 4 月～平成 30 年 3 月

※報告書提出時点～平成 30 年 3 月末までの活動は、予定（見込み）として記載ください。

3. 活動内容

※記入にあたっては、末尾の留意事項も確認ください。

(1) 活動の概要（800字程度＋活動内容を表す写真数枚）

※チェック事項 1-1、2-1 に対応

当校では、ESDの視点から構築した教育課程において、様々な人とコミュニケーションをとって授業を形成している。その中で、学区や世界へつながる活動を行い、把握した問題を解決する学習活動を展開すれば、世界とつながる喜びを感じ、よりよい未来の担い手として行動する生徒が育つであろうと実践している。

具体的には、総合的な学習の時間を中心に、①青木川河川美化活動、②ふれあい教室・長寿者訪問、③常磐の宝を紹介しよう（パンフレット作成・配布）、④滝山寺鬼祭り・土鈴制作販売ボランティア活動など地域後関わる活動を実施した。

①河川美化活動

6月には学校の近くを流れる青木川を、地域の方や小学生と清掃する活動に取り組んだ。地域の自然に目を向けることや、環境保護・勤労意欲の向上などの成果をあげている。

② ふれあい教室・長寿者訪問交流活動

7月のふれあい教室において地域の講師の方に気持ちのこもった絵手紙の書き方を教えていただいた。9月には、ふれあい教室で制作した絵手紙をもって、地域の長寿者のお宅を訪問した。生徒たちはお年寄りの方と交流と親睦を深めることができただけでなく、それぞれの生徒たちが感謝の気持ちをもつことができた。

③ 常磐の宝を紹介する活動

1年生の総合的な学習の時間に、学区のひと・もの・ことをPRするパンフレットを作成した。12月にワンデースタディの日を設定し、生徒たちが市内の公共施設等を訪問しながら、作成したパンフレットを配付したり、公共施設においてもらうように頼んだりした。地域のことを宝に思い、それを発信していこうという気持ちが高まった。

④ 土鈴制作・販売ボランティア活動

滝山寺節分会や鬼祭りにて販売し、収益金をユニセフや福祉施設に寄付したりすることを目的としている。昭和51年から続く、常磐中の伝統であり、地域の人々と交流し、ふるさとを愛する心を育む機会となっている。

① 河川美化活動



② ふれあい教室・長寿者訪問



③ 常磐の宝 発信活動

土鈴と常磐キャンディー

私たち常中は、毎年鬼祭りの日に土鈴と常磐キャンディーの販売を中学生が1つ1つ行っています。土鈴は、鬼にちなみ作り出した鬼の置物です。常磐キャンディーとは、常磐中のオリジナルキャンディーです。キャンディーには常中がデザインした鬼と磐のイラストがされています。令和4年度は、令和4年度から初めてお土産に買っていただくことができます。

鬼祭りに使われる道具

鬼祭りで使われる道具には、お面と松明があります。お面は鬼門時代に作られたもので、口を開いたお面、という伝説があります。昔は、父面・母面・鬼父面・鬼母面・孫面がありましたが、現在は鬼父面・鬼母面・孫面の3つしかありません。お面は、4月から9月を過ぎると鬼の魂の人で飾られています。

鬼祭り以外の祭り

鬼祭り以外の祭りは主に3つあります。一月の中旬に「人日の慶忌」という行事、二年の土曜日に開催される「磐分」という行事、三月に行われる「土日の慶忌」という行事などがあります。その中でも十月下旬にある磐分祭は、常磐中が主催する祭りで、たくさんのお客さんが来られます。昔はいろいろなお祭りが行われていました。

瀧山東照宮

瀧山東照宮は久能山東照宮、日光東照宮とともに日本三大東照宮の一つです。瀧山東照宮は中世末によって建築され、平家の輝耀と奥の本願に分かれています。このように瀧山東照宮が2つに分かれているものは、とても珍しい形です。



仁王門

仁王門の別名はさんげだつ門です。門には「さんぎょう」と「らんぎょう」が掲げられています。屋根の下にはすみれがいます。すみれは、2つ目、とまっぴの鬼がいます。



鬼祭り

鬼祭りは、2月中旬ごろに行われます。祭りでは材料など、2日ほど前から入って集めます。祭りでは、鬼に扮して、お面をつけてお祭りに参加します。お面は、お面をつけてお祭りに参加します。お面は、お面をつけてお祭りに参加します。お面は、お面をつけてお祭りに参加します。



④ 土鈴制作・販売ボランティア活動



(2) 活動の詳細

① 活動内容

※チェック事項 1-2, 2-1 に対応

ア. 活動分野 (複数選択可)

<input type="checkbox"/> 1. 環境	<input type="checkbox"/> 2. エネルギー	<input type="checkbox"/> 3. 防災	<input type="checkbox"/> 4. 生物多様性
<input type="checkbox"/> 5. 気候変動	<input type="checkbox"/> 6. 国際理解、文化多様性	<input checked="" type="checkbox"/> 7. 地域の伝統文化、文化遺産	<input type="checkbox"/> 8. 人権・平和
<input checked="" type="checkbox"/> 9. 健康・福祉	<input type="checkbox"/> 10. 食育	<input type="checkbox"/> 11. 持続可能な生産と消費	<input type="checkbox"/> 12. 貧困
<input type="checkbox"/> 13. エコパーク	<input type="checkbox"/> 14. ジオパーク	<input type="checkbox"/> 15. グローバルシチズンシップ教育 (GCED)	
<input type="checkbox"/> 16. ジェンダー平等	<input type="checkbox"/> 17. その他()		

イ. 活動を通して育みたい資質や能力 (複数選択可)

<input type="checkbox"/> 1. 批判的に考える力	<input checked="" type="checkbox"/> 2. 未来像を予測して計画を立てる力
<input checked="" type="checkbox"/> 3. 多面的、総合的に考える力	<input checked="" type="checkbox"/> 4. コミュニケーションを行う力
<input checked="" type="checkbox"/> 5. 他者と協力する態度	<input type="checkbox"/> 6. つながりを尊重する態度
<input type="checkbox"/> 7. 進んで参加する態度	
<input type="checkbox"/> 8. その他(自由記入)	

ウ. 活動時間 (複数選択可)

<input type="checkbox"/> 1. 教科の時間	<input checked="" type="checkbox"/> 2. 総合的な学習の時間
<input checked="" type="checkbox"/> 3. 特別活動等	<input type="checkbox"/> 4. クラブ活動
<input type="checkbox"/> 5. その他(自由記述)	

エ. 使用した教材 (書籍、ウェブサイト、パンフレットなど具体名)

使用していない

- ② ユネスコスクールとしての活動を各校の教育課程（指導計画）にどのように位置付けているか。指導内容を適切に定め、指導方法の工夫改善に努めているか。（200～300字程度）

※チェック事項 1-2, 1-3 に対応

全教科の授業と総合的な学習の時間・特別活動とのつながりを考えたESDカレンダーを作成し、系統性を踏まえた実践をしようとしている。生徒の実態を捉え、教科・領域をつないだクロスカリキュラムを立てて研究を進めている。すべての活動に、ESD（持続可能な社会への担い手の育成）プロジェクトの推進とつなげようとし、各教科・領域と関連付けた国際理解教育、人権教育、環境教育の学習を通して、自ら課題を見つけ解決しようとする生徒の育成を目指している。

- ③ 学校全体で組織的かつ継続的に活動に取り組める体制や環境をつくるため、どのような取組を行っているか。（200字程度）

※チェック事項 1-4 に対応

「よりよい地球を築く TOKIWA ESD プロジェクト」を設定し、授業の指導案を作成する際に、「常磐から未来へ」の項目を設定し、あらゆる教科の授業で、持続可能な社会を担う生徒となるような働きかけをする手だてを考えて授業実践をする。

- ④ ユネスコスクールとしての活動の質の向上のための学校活動の評価（内部/外部）の方法・具体的内容と、それによって明らかになった成果と課題。（200字程度）

※チェック事項 1-5 に対応

平成 29 年 12 月の教育活動アンケートを全生徒と全保護者を対象に実施した。生徒からは、「地域や自分の生き方に目を向けることやボランティア活動をしている。」に 81%、保護者からは「学校は、特色ある教育活動を展開している。」に 85%が、よくあてはまるまたはややあてはまると回答しており、活動に意欲的に取り組んでいると言えるであろう。

- ⑤ ESD の推進拠点としての活動成果の発信方法・内容と、発信により得られた効果。(200字程度) ※チェック事項 2-2 に対応

市内の公共施設に生徒たちが訪問をし、作成した学区のパンフレットを配付した活動では、地域のことを誇りに思い、地域の良さを知ろう、それを発信していこうとする心を育成することができている。

- ⑥ 学校以外の団体との協働・交流・ネットワーク形成(地域コミュニティ、大学、ESD活動支援センター、ESDコンソーシアムとの連携など)
(200字程度) ※チェック事項 2-3 に対応

大学、ESD活動支援センター、ESDコンソーシアムとの連携はない。岡崎市福祉協議会から福祉教育推進校の指定をされ、補助を受けて各種のボランティア活動等を実践している。

- ⑦ 国内外のユネスコスクールとの交流・ネットワーク形成(200字程度) ※チェック事項 2-4 に対応

ユネスコスクールとの交流は実施していない。今後、国内や国外の生徒同士の意見交換会を実施して、学校の活動の様子を発信して、他校の様子を生徒が知り、当校の活動内容をさらに高めていきたい。

- ⑧ ユネスコスールの活動による効果について、特筆すべき（特に強調したい）内容（例えば児童生徒、教員、カリキュラム・教授法、学校経営、地域・保護者との関係など様々な面でのポジティブな変化）（200字程度）
※チェック事項 2-5 に対応

常に、ESDを意識して授業実践を行うことにより、教材や題材とのつながり、生徒同士の気付きや考えのつながり、地域の人とのつながりなど、多くのつながりの中でコミュニケーションをとりながら、生徒たちの人としての成長を総合的な学習の時間や行事を通して見ることができた。

(3) 平成30年度の活動計画（200～400字程度）

○河川美化・鬼祭り土鈴販売ボランティアなどは、50年以上続けてきた伝統的な行事である。それらを継承し、さらに発展させていくようにしていきたい。

○ユネスコスールの生徒同士の交流等を積極的にし、学区のよさを世界へ発信するための方法を探す。

○学級担任と教科担任の連携のもと、分かりやすい、主体的・対話的で深い学びのある授業を目指し、活発な取り組みを実践していきたい